

ま な び や

目黒の学び舎から



聖契神学校ニュースレター No.31 2012年6月7日発行 発行人 関野祐二
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 5-17-8 聖契神学校 電話 03-3712-8746 FAX 03-3712-8804
URL: <http://www.seikei-seminary.org/> E-mail: covenant-seminary@nifty.com

主の聖名を讃美いたします。

いつも聖契神学校のため、お祈りとご支援をいただき、ありがとうございます。夕空に明星が並んだだけでニュースになる昨今、天文趣味が市民権を得たようでうれしい反面、それだけ地上の出来事に夢や希望を抱き難い世相のゆえとも。天を仰ぎ主を仰ぎつつ、なおも現実を見据えて。

「さあ、天を見上げなさい。... あなたの子孫はこのようになる。」(創世記15:5)

校長 関野祐二

● こうなった卒業式&入学式、そして

キャパオーバーが懸念された卒業式は、チャペル後ろの会議室を開放し、補助椅子も出して、ぎりぎりの144名出席でした。食堂での感謝会も、混雑しましたが何とかあった(何とかした)のでよかったよかった！(詳しくは「ニュース」114号で)。卒業式で12名を送り出し、入学式で15名(+編入4名)を迎えた結果、聴講終了者などを差し引いて68名の新年度です。年齢層が少し上がったような、静かになったような(わかる)。5月第3週より、月曜夜に靈性セミナー、土曜午後にユースセミナーが隔週で始まりましたが、各々卒業生が数名含まれ、どこか懐かしい風がその時に吹き込みます。「我に学べ」との主イエスにあるキャラクターが共通項ですね。

● 花壇大作戦

「これから月1回、花壇の手入れをするから、お手伝い出来る学生に声をかけ、花や道具を買う予算を取ってください」。有言実行ピカイチ、植物を育てることが趣味で、運営委員&理事でもあるK先生の宣言(鶴の一声?)に、日頃庭の手入れが行き届かず困っていた担当者は感謝感激雨あられ。掲示板に奉仕者募集を出したら、4~5名の勇士が集まり、5月8日に第一回を迎えました。テキパキ指示を出すK先生の声がコンクリートに反射して校内に(校外も?)響き渡り、庭や階段下の道具置き場は見る見るキレイに。園芸の賜物なしを決め込み室内に隠れていたら、いきなり名前を呼ばれました。あわてて窓から顔を出すと、片づける前と後の両方、しっかり写真を撮るようになって！(ダイエット広告?)。果樹も植えられ、おいしいものがそのうち食べられるかな、と身勝手な想像をするのでした。花も神学生も手間のかけ方次第、ですかね。

● ほら、見えたでしょ金環日食

金環日食、ご覧になりましたか? 当日の朝、東京都心は分厚い曇り空。日頃から創造主への信頼を鼓舞している関係上あきらめるわけにもいかず、朝6時過ぎに屋上へござを敷き、重い手つきで望遠鏡セッティング。うらめしく曇天を見上げていましたが、アレ? 北の空が少し晴れている! そして、部分食が始まり寮生たちが集まる頃には、雲間から欠けた太陽が時折見えるまでに。時計とにらめっこしながら、どうか金環の数分間だけ雲が切れそうですよと祈りました。

いよいよ運命の7時32分、望遠鏡で投影した太陽は雲に隠れて見えません。ああダメか、と思ったその瞬間、「あ、肉眼で見える！」との歓声。なんと、厚い雲が程良いフィルターとなって、見事なリングがぼっかり天空に浮かんでいるではありませんか。前日の夜、気象衛星の画像を見ながら西へ行くか北へ上るか画策しつつ踏み切れなかったのは、共に生きる寮生や家族と喜びを分かち合うためだったのです。「ほら、じっとしてればちゃんとこの場所で見えたでしょ」とは、悟りきったような妻の弁。まいりました、と不信仰を認め、後で金環食の感動をお伝えする際、26年目の結婚指輪をはずして宙にかざし、こんな感じてしたよと説明することにしたのでした。

● 公開講演会は来ないと後悔？

福島第一聖書バプテスト教会は、メルトダウン事故を起こした福島第一原発（名前がカブリますね）から5kmにある教会。3・11が誕生日という佐藤彰牧師はじめ、スタッフや教会員は、震災直後より流浪の旅を余儀なくされ、筆舌に尽くしがたい苦難を味わいました。一般のメディアでも報道されていますね。5月に佐藤師を聖契教団の集会へとお招きし、交わりが与えられたよしみから、聖契神学校で公開講演会を開くことになりましたよ。授業の時間枠135分を2回分充てますから（在校生は授業振替）、ゆっくりじっくり聴けるはず。詳しくは別刷り案内チラシ（カラー！）をご覧ください。掛け値なしに、これはお聴き得です（収容キャパシティは大丈夫？）。ある必要から、原子力利用を自然科学&神学の観点で検証する大それた（？）考察に足を突っ込む身にとって、佐藤師講演は大きな助け。1年が経過し、原発再稼働の是非が激しく論じられるさなかですから、折に叶った内容と確信しています。ああやっぱり、と後悔しないためにもぜひ。

● JEA協力（強力）会員になりました

JEAは日本福音同盟の略称。福音派教会と教団教派、そして超教派団体や神学校が加盟する宣教協力機関です。教団立神学校として、従来は加盟する聖契教団の枠で活動をしていましたが、さらに交わりとネットワークを広げる必要から、諸手続きを経て単独に協力会員となり、6月上旬の総会に臨みました。7~8年前からJEA神学委員をしてはいても、総会に協力会員・聖契神学校の身分で出席するのは初めて。学生会作成のパワポ（スパイダーマンやエステルが登場するアレ）をパクってプレゼンもさせていただき（片仮名ばかりで失礼）、神学校の特色（いやはや）を福音派の代表者面々に知っていただきましたよ。と・こ・ろ・で・今回の総会は、初日の6月4日が部分月食、最終日6日には金星の太陽面通過が起こる（次回は105年後！）という稀有な日程。月食は曇られましたが、金星は台風が雨雲を連れ去り、閉会礼拝後快晴に。車で持参した愛用の望遠鏡で投影像に焦点を合わせると、黒点が散在する太陽面に、ビー玉のような漆黒の金星が現れました。みんな大騒ぎ！天体ショーを共有するとやさしくひとつになれる、そう、加盟した聖契神学校が、福音派をまとめるJEAの一致に少しでも役立てるならすばらしいですね。帰宅したら東京は雨。主がJEA総会で掛川市に連れ出し、金星通過を見せてくださったのです。

● 聖契神学校の予定と祈りの課題

- ・ 2012年度前期の授業と在校生68名の学びが、健康や霊性を含め守られるように。
- ・ 7月6日、7日の公開講演会「震災で何を見たか」（佐藤彰師）に多くの方々が来校し、在校生共々に祝福された集会となるように。佐藤師の働きと健康のため。
- ・ JEA協力会員となった聖契神学校の、広く超教派における使命と働きのため。